

平成25・26年度 文部科学省委託事業
平成26・27年度 入間市教育委員会委嘱
平成26・27年度 入間市教育研究会委嘱

「小中一貫教育学びの手引き」

知・徳・体の調和のとれた児童生徒を育成する
小中一貫教育の推進



ユニバーサルデザイン ・ 5分前行動

施設分離型／黒須小学校・黒須中学校

黒須小学校と黒須中学校の一貫教育と学びの手引きについて

黒須小学校校長 武藤 敦

黒須中学校校長 横山義武

I 背景

入間市では、過去に学校が落ち着かない時代があった。その主な理由の一つに、発達障害の二次的障害があると考えた。そこで全市をあげて保幼小中高の連携を強化し、発達障害の早期発見・早期支援に取り組んだ。そして現在、学校は落ち着きを取り戻し、学力の向上の取組と共に、教育の質日本一を目指している。

II 内容

黒須小学校・黒須中学校の一貫教育で行ったことは、以下の3つである。

1 目指す子ども像の一致

小中一貫の目指す子ども像「知・徳・体の調和の取れた子どもの育成」を一致させた。

2 「学びの手引き」で一貫する内容を明確化

一致させた目指す子ども像から、具体的に何を一貫とすることが必要であるかをこの「学びの手引き」にまとめた。その柱を黒須小学校・黒須中学校の学校の重点とした。

3 小中での一貫する内容の徹底・深化

「だれにでもわかる授業：ユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業の展開」の徹底と深化をさせるために、教員による模擬授業形式の研修を年間7回以上実施し、アクティブラーニングを意識して、指導力の向上を図っている。

III 学びの手引き（小中一貫の内容）

「学びの手引き」（接続の手引き）の主な内容は、以下の3つである。

1 知：小中学校で「だれにでも分かる授業」としてユニバーサルデザイン（UD）の視点を取り入れた授業の取組

2 徳：落ち着いた環境づくりとして中学校では5分前行動、小学校では1分前着席

3 体：体力は持久力の向上に焦点化

留意した点は、見やすい手引きとするために、左頁に小学校、右頁に中学校と統一した。写真や吹き出しを活用し文章を少なくして、だれにでも理解しやすい手引きを心がけた。

この学びの手引きの内容を、小学校と中学校の接続の手引きとして活用している。

IV 成果と課題

○成果

①5分前行動の定着によって得られた「静寂」である。着席して休み時間を過ごすことにより和やかなコミュニケーションが学級内に生まれた。そのため学級満足度は、高くなり、不登校の生徒数も年々減少傾向にある。なによりも中1ギャップの解消に大きな成果を上げている。

②あいさつが大きな声でできるようになった。

③5分前行動（小学校では1分前着席）が当たり前のようになっている。④集会や朝読書で静寂の時間を確保でき、集中力が高まった。

⑤UDの視点を取り入れた授業を全職員で行い、学力が向上している。

△課題

①教師が入れ替わっても、目指す生徒像や重点を一貫して行っていきたい。

②小中の良い所である「あいさつ・5分前行動」を家庭や地域でも協働進化させていく。

V 結びに

本研究を進めるにあたり、明星大学小貫悟教授をはじめ、入間市児童センター塩野育子所長、埼玉県教育委員会、入間市教育委員会、各方面の方々に指導助言をいただきました。この場をかりて御礼を申し上げます。

目 次

・重点（重）

- No. 1 5分前行動（小：1分前行動）
- No. 2 静寂（集会・朝読書・清掃）

・学力（知）

- No. 1 授業
 - （1）環境 （2）感動 （3）焦点化 （4）共有化 （5）構造化 （6）視覚化
- No. 2 家庭学習
- No. 3 配慮を要する児童生徒への支援
- No. 4 授業の交流（児童生徒・職員）
- No. 5 成果と課題

・人間力（徳）

- No. 1 落ち着き（小：1分前着席・中：5分前行動）
- No. 2 生活のきまり（あいさつ・返事・姿勢・かかとをそろえる・傘の柄をそろえる）
- No. 3 児童生徒の交流（絆）
- No. 4 心の教育
- No. 5 成果と課題（アンケート結果・Q Uテスト・中一ギャップ）

・体力（体）

- No. 1 持久力の向上
- No. 2 部活動説明会・体験
- No. 3 体育の授業の連携
- No. 4 成果と課題（持久力向上・不安解消）

・全体（全）

- No. 1 発達段階に応じた小中一貫
- No. 2 給食
- No. 3 清掃
- No. 4 朝の会と帰りの会
- No. 5 PTA 連携

・資料（資）

- No. 1 研究概要
- No. 2 小中一貫便り（小）
- No. 3 小中一貫便り（中）



小学校編

重点 No.1

1 分前着席



1. ポイント

- ① 無言入退場 ② 1 分前着席

2. 内容

① 無言入退場



② 1 分前着席



② 1 分前着席





中学校編

重点 No. 1

5分前行動



1. ポイント

- ① 5分前の無言入退場 ② 授業前のコミュニケーション

2. 内容

①無言入退場



②授業前のコミュニケーション



②授業前のコミュニケーション





静 寂



1. ポイント

- ① 全校が図書館の静けさ ② 心を落ち着かせる時間

2. 内容

① 全校が図書館の静けさ



① 全校が図書館の静けさ



③ 心を落ち着かせる時間





静 寂



1. ポイント

- ①心を落ち着かせる時間 ②全校が図書館の静けさ

2. 内容

①心を落ち着かせる時間



②全校が図書館の静けさ



②全校が図書館の静けさ





1. ポイント

環境：① 落ち着き：静寂 (1) 1分前着席 (2) 朝会の始まる前 (3) 朝読書

② 黒板に集中できる掲示

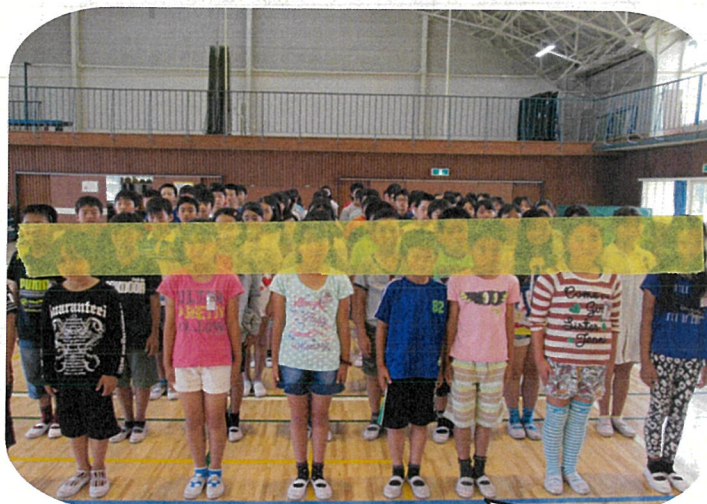
2. 内容

① 落ち着き：1分前着席



気持ちの切り替え

① 落ち着き：朝会の始まる前



開始時刻まで静寂

① 落ち着き：朝読書



自ら静寂

② 黒板に集中できる環境



掲示は最小限



中学校編

学力 No. 1

環境



1. ポイント

環境：① 落ち着き：静寂 (1) 5分前行動 (2) 朝会の始まる前 (3) 朝読書

② 黒板に集中できる掲示

2. 内容

① 落ち着き：5分前行動



気持ちの切り替え

① 落ち着き：朝読書



自ら静寂

① 落ち着き：朝会の始まる前



開始時刻まで静寂

② 黒板に集中できる環境



掲示は最小限



小学校編

学力 No. 1

感動



1. ポイント

感動：① わかった ② できた ③ なるほど ④ おー

2. 内容

① わかった ② できた



授業で積極的に挙手

③ なるほど ④ おー



説明を聞いて納得



中学校編

学力 No. 1

感動



1. ポイント

感動：① わかった ② できた ③ なるほど ④ おー

2. 内容

① わかった

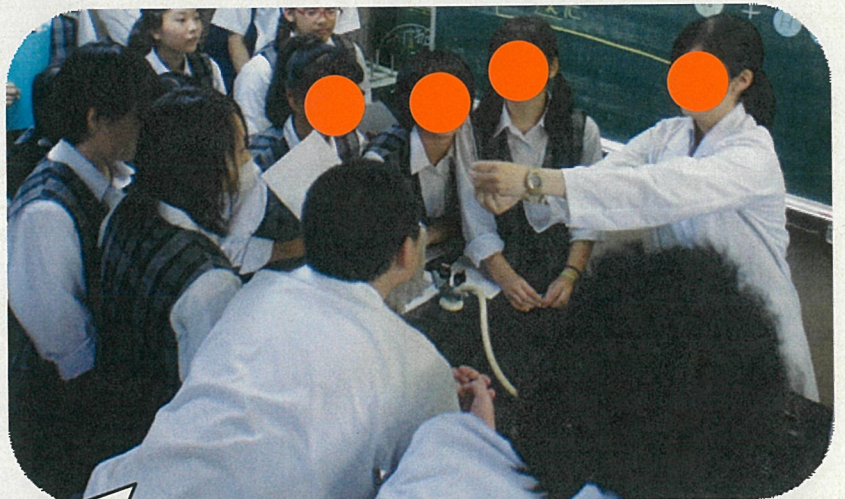
② できた



音楽でのペア活動

③ なるほど

④ おー



理科の実験で「感動」



焦点化



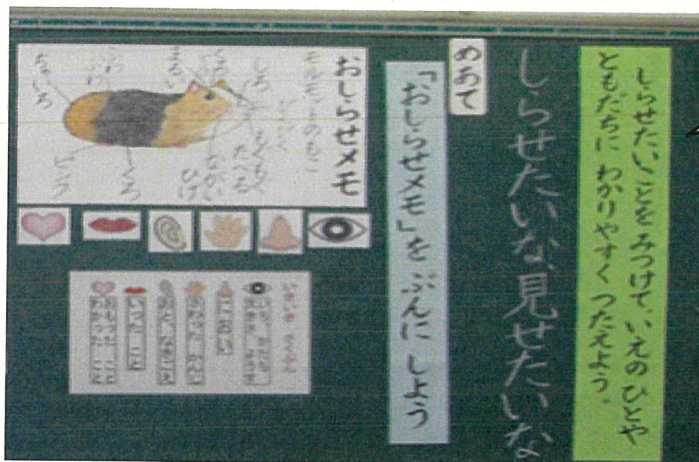
1. ポイント

焦点化：①ねらいの明確化 → 「めあて」の提示 ②
課題の絞り込み

課

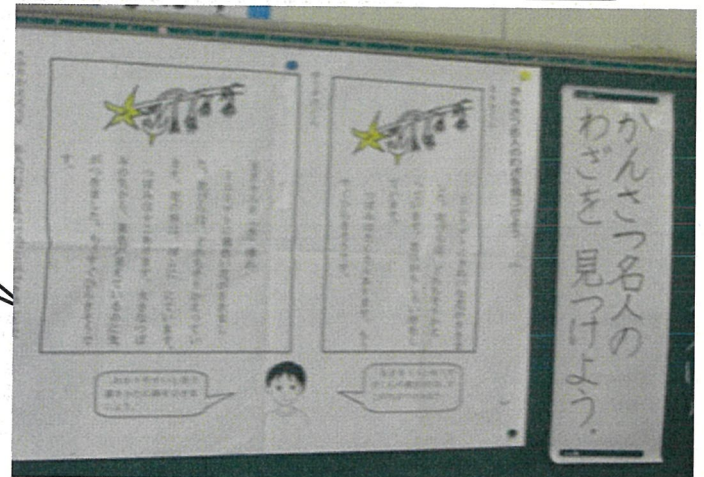
2. 内容

①「めあて」の提示



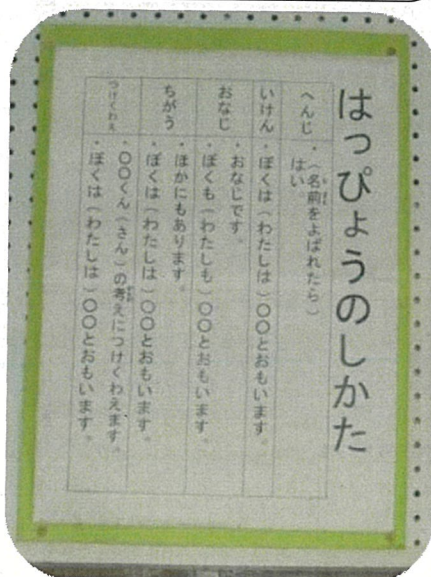
- ・「中心的な発問」の精選
- ・明確化（補充・深化・統合）
- ・説話の工夫

②課題の絞り込み

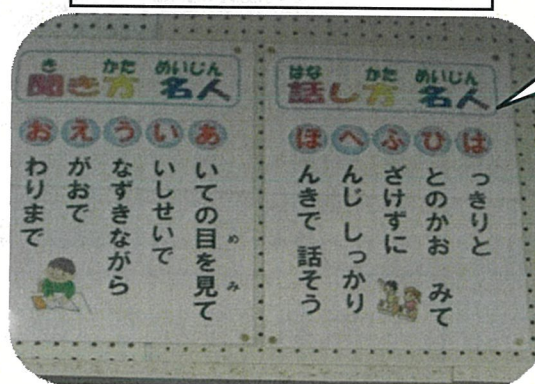


「全員参加」の授業づくり

発表の基本形



話し方・聞き方



「聞き方名人」あいうえお
「話し方名人」はひふへほ

焦点化

1. ポイント

焦点化：①ねらいの明確化 → 「めあて」の提示

②課題の絞り込み

2. 内容

①「めあて」の提示



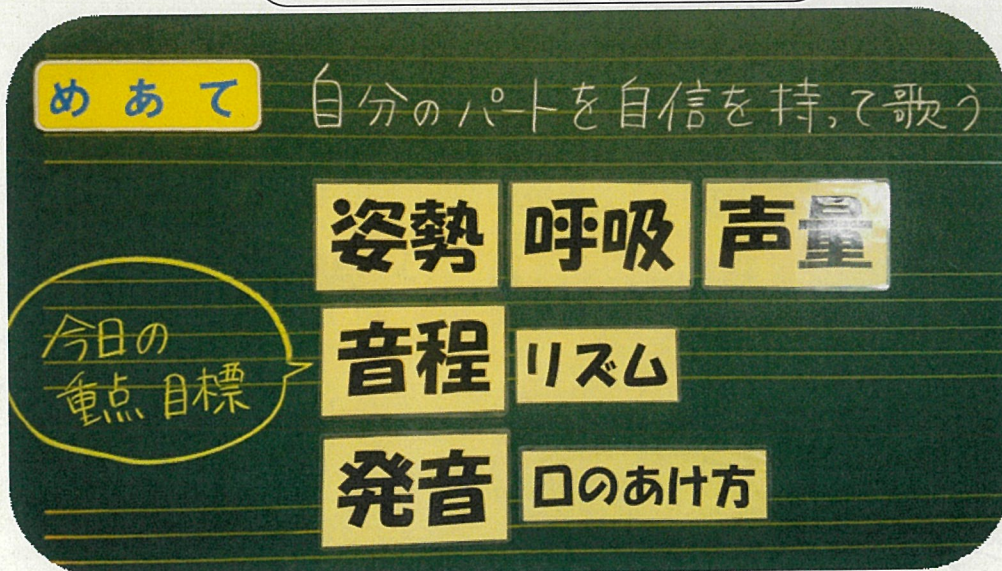
全授業で「めあて」を提示

①「めあて」の提示



ライフスキルでの板書

②課題の絞り込み



課題を絞った授業展開



小学校編

学力 No. 1

共有化

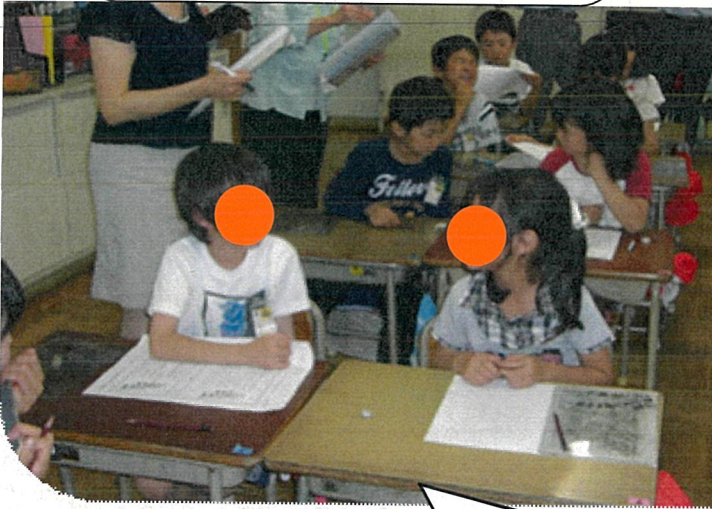


1. ポイント

共有化：①ペア学習 ②3～4人班 ③ふりかえり

2. 内容

①ペア学習



隣との学び合い

②3～4人班



班活動

③ふりかえり



2人以上

学力定着 & 向上



中学校編

学力 No. 1

共有化

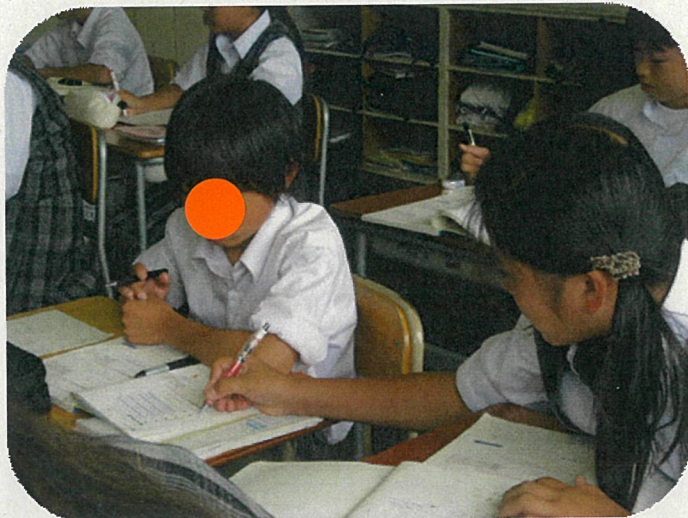


1. ポイント

共有化：①ペア学習 ②3～4人班 ③ふりかえり

2. 内容

①ペア学習



子どもたち同士で解決

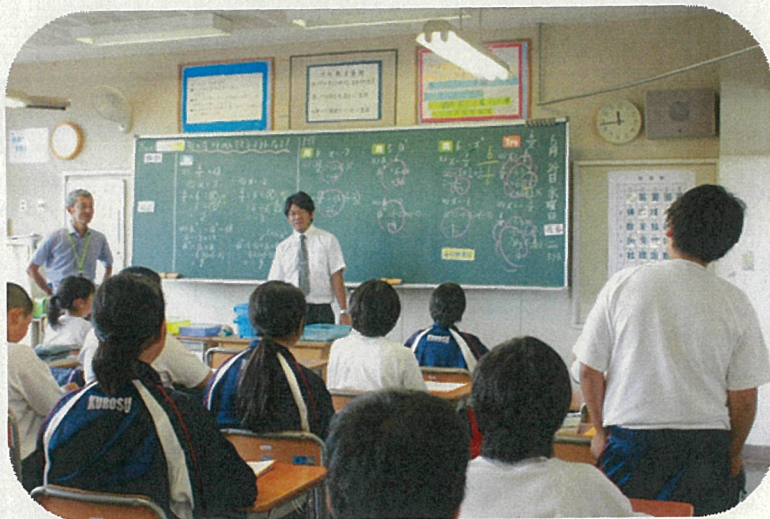
②3～4人班



人数を増やし、理解の深化

③ふりかえり

学力定着 & 向上



内容理解と言語活動の充実



構造化



1. ポイント

構造化：① 1 分前着席（落ち着き） ② めあて ③ 今、どこ（何）をやっているのか、次にどこ（何）をやるのかがわかる ④ 子どもの言葉でふりかえり

2. 内容

① 1 分前着席



学習道具は準備済み

④ 子どもの言葉でふりかえり



授業の完結

② めあて ③ 次にやることがわかる

終末

展開

導入



その時間の目標を明確に



構造化



1. ポイント

構造化：① 5 分前行動（落ち着き） ② めあて ③ 今、どこ（何）をやっているのか、次にどこ（何）をやるのかがわかる ④ 生徒の言葉でふりかえり

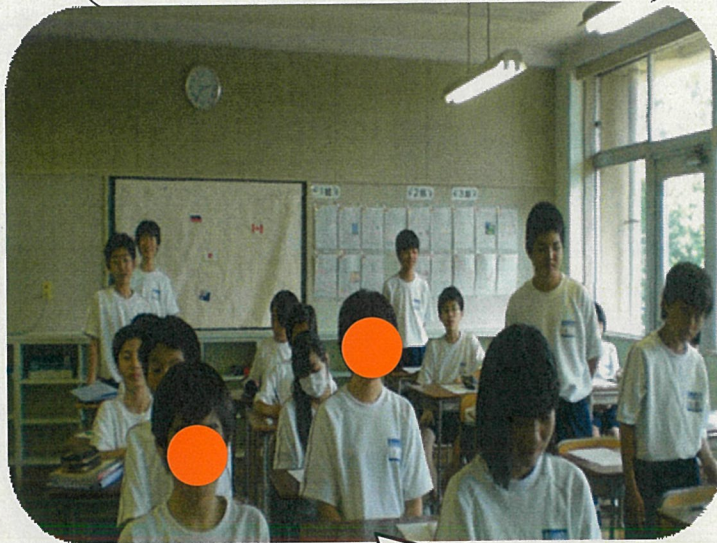
2 内容

① 5 分前行動



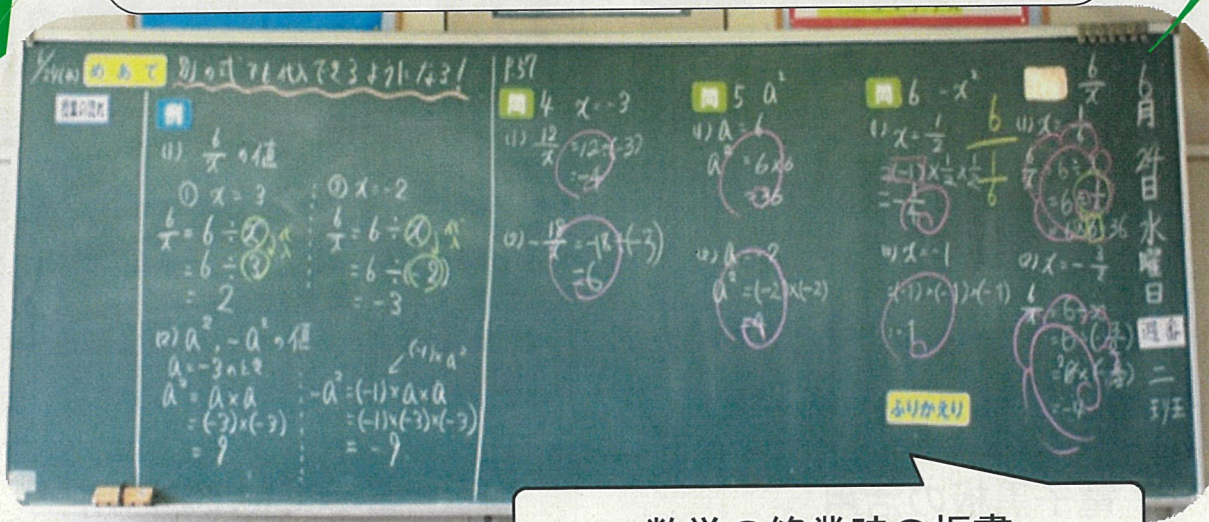
予習・復習もこの時間で

④ 生徒の言葉でふりかえり



英語の授業の様子

② めあて ③ 次にやることがわかる



数学の終業時の板書



小学校編

学力 No. 1

視覚化

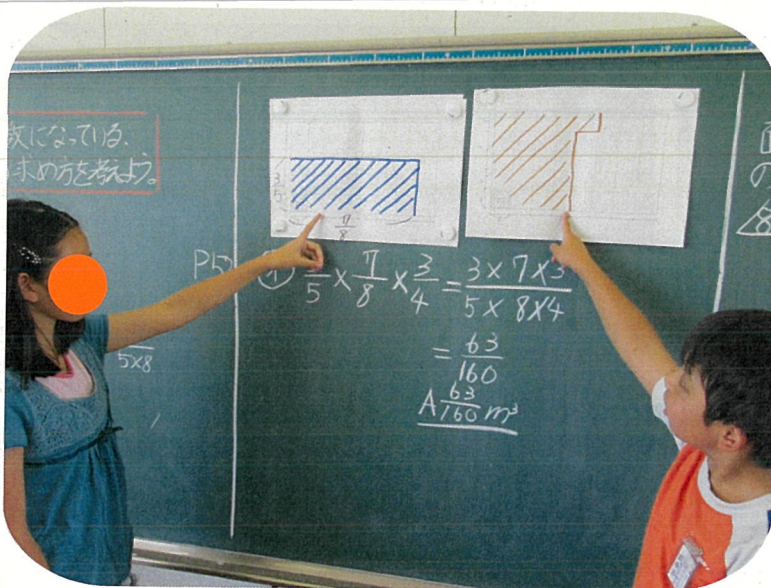


1. ポイント

視覚化：①図やグラフ・表 ②パワーポイント・ICT

2. 内容

①図やグラフ・表

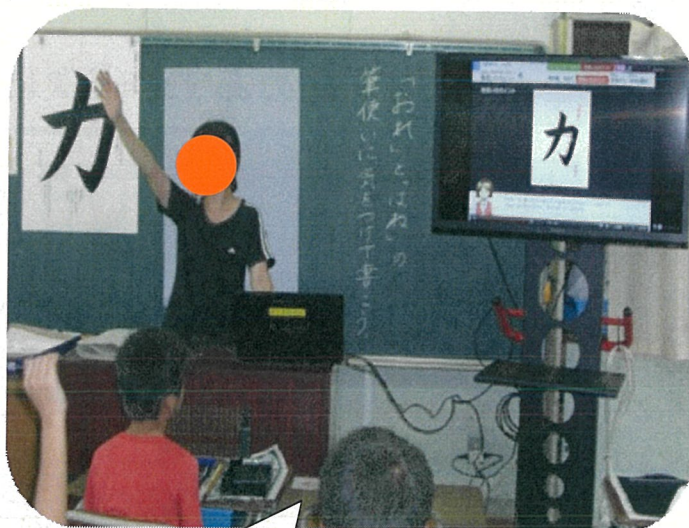


表を使って説明

②パワーポイント・ICT



電子黒板の活用



書写でICTを活用



視覚化



1. ポイント

視覚化：①図やグラフ・表 ②パワーポイント・ICT

2. 内容

①図やグラフ・表



地域マップの活用

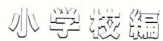
②パワーポイント・ICT



インターネットの活用

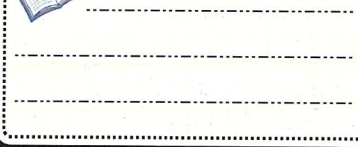


英語でICTを活用



学力 No. 2

家庭學習

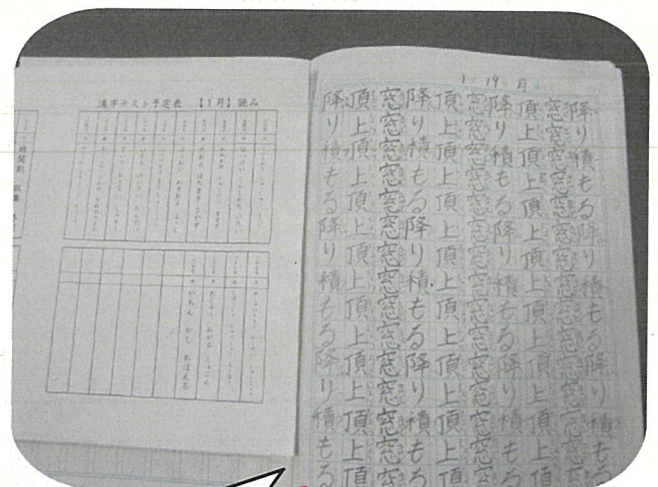


1. ポイント

① 読書 ② 書く ③ 計算

3. 内容

低学年の家庭学習



作文の表現力や算数の基礎学力の定着

漢字テストの予定表を作成

家庭への啓発

黒須小学校

確かな学力を育む家庭学習のポイント

1・2年

半読時間のもやす
20分以上

いっしょにやって、やる気を出す

音読：句読点に息をつけて、大きな声で、
はつきりと読みましょ。
漢字：正しくえん筆を持ち、とめ はな はら
いに息をつき、大きく書きましょ。
計算：手順を声に出し、何回も練習しましょ。

ポイント

⑩子どもの字習に興味を！

- 少ない時間でもいっしょにやってください。
 - いっしょにできないときは、僕で目を通して声をかけてあげてください。
 - 毎日、子どもの音読を聞いてあげてください。
 - 読書が好きな子になりましょう。
- ☆学習環境を整えよう！**
- テレビは消します。
 - 部屋は明るくします。
 - 子どもに合った机や椅子を用意します。
- ☆家庭と学校との協力です！**
- 毎日、連絡帳を見て、サインをお願いします。
 - 学習用具を忘れずに準備します。

●家庭と学校との協力を！

- 毎日、連絡帳を見て、サインをお願いします。
- 学習用具を忘れずに準備します。

3・4年

学習時間のめやす
40分以上

認めて、ほめて、自信をつける

音読：教科書の文章をつかえず、すらすらと読めるようにしましゅ。
漢字：ていねいに、筆順を守って、くり返し練習しましゅ。
計算：ドリルなどを使って、反復練習しましゅ。



①子どもの学習に関心を！

- 分らないところは、一緒に考えてあげて下さい。
 - 子どもの伸びを見つけて、ほめる。
 - 毎日、子どもの言動に聞いてあげて下さい。
 - 読書の習慣化を目指しましょう！
- ☆学習環境を整えよう！**
- テレビは消します。
 - 部屋は明るくします。
 - 子どもに合った机や椅子を用意します。
 - 子ども用の辞書を用意します。
- ☆家庭と学校の協力！**
- 学校からのお便りを確実に受け取ります。
 - 食事のときに話すなど、約束を促めるといいます。
 - 学習用具を忘れずに準備します。

●学校からの便りを随時に見取ります、食事のときに読するなど、約束を決めるとよいでしょう。

●学習用品を忘れずに準備します。

5・6年

学習時間のあやす
60分以上

見守って、伸ばす

音読：教科書以外の文章(古文・漢文等)
もたくさん声に出して読みましょ。
漢字：正確にくり返し練習し、使える漢字
を増やしましょ。
計算：正確に、速くできるよう何度も練習
しましょ。
その他：授業の予習・復習に心がけましょ。

● 科目別 科目別 科目別

- 子どもが成長を誇れる、ほめ・励ます。
 - 昨日のわが子と比べて、認める。
 - 計画的に計画に取り組みましょう。
- ☆学習環境を整えよう！
- テレビは消します。
 - 居間・食卓に気を配ります。
 - 学習に取り組み始める前、親子で決めます。
- ☆家庭と学校の協働を！
- 学校からのお願いを確実に受け取ります。
 - 家庭で、子どもとの話をよく聞きます。
 - 学習用具をそろえやすく準備します。

●家庭と学校との協力を！

- 学校からの便りを確実に見受け取ります。
- 家庭で、子どもの話をよく聞きます。
- 学習用品を忘れずに準備します。

規則正しい生活「早寝・早起き・朝ごはん」に心がけ、家庭でできることから始めましょう！